

2017年10月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2017年11月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

	9:00-20:00		9:00-17:00
	休館日		13:00-20:00
	13:00-19:00		9:00-19:00

図書館グッズ紹介

図書館のグッズに新しい仲間が増えました。新しく加わったグッズを今回は紹介します。

クリアファイル



梵字メモ帳



図書館寄託書『両界曼荼羅図』(南北朝時代・道教著)の一部が使われています。グッズで使われている曼荼羅は仏を梵字やシンボルで表しています。

図書館で販売しているグッズはこの他に「高野八景」の絵葉書や「高野山之図」のクリアファイルがあります。興味のある方は図書館までお問い合わせください。

発行所

〒648-0280

和歌山県伊都郡高野町

高野山 385

高野山大学 図書館閲覧室

TEL : 0736-56-3835

FAX : 0736-56-5590

E-mail

service-lib@koyasan-u.ac.jp

twitter : @koyasanlib

本学卒業生の著作特集

図書館閲覧室入口近くに本学卒業生の著書を配架しています。

3段目の図書は館内閲覧のみですが、他の段の図書は貸出可能です。秋の夜長のお供に手に取ってみてはいかがでしょうか。



返却を済ませていますか？

長期貸出の返却日期限は9月30日(土)です。



必ず返却をお願いします。

延滞期間を一定以上すぎると貸出停止のペナルティがつきます。ご注意ください。

紫陽花に想う

高野山大学図書館長 前谷 彰（恵紹）

紫陽花やはなだにかはるきのふけふ （正岡子規）

（句意）

昨日と今日というように一日一日紫色にその色合いを変えて行く紫陽花 なんだな。

（解説）

あじさいの花言葉は、その飯尾色が日々変化することから、「移り気」や「心変わり」と言われています。しかし、あじさいという名前は「あづ」（集まる）と「さい」（真藍）で、藍色の花が集まって咲く様子から来ています。そのイメージから、あじさいは「一家団欒」「家族の結びつき」を象徴する花と考えられています。本来の「紫陽花」は唐の詩人である白居易が命名した紫色の花のことで、日本では平安時代の学者である源順みなもとのしたごうが今日あるあじさいの花に「紫陽花」の字を当て、その誤用が定着してしまったものと考えられています。あじさいの色には、白、青、紫、ピンクなどがありますが、基本的には酸性土壌で青色が強く、アルカリ土壌では赤色が強くなるという説と、遺伝的に決まっているという説があるようです。正岡子規があじさいに纏わるこのような知識を持っていたかどうかは知りませんが、子規にあじさいを詠じさせると、こんなにも美しくも哀しい句になるのですね。

私たちが目にするあじさいの多くは、雨が降ったり湿度が高くなると紫の色合いを強めて行きますが、紫色に限らず、天候によって微妙にその色を変えるという特徴を持っています。

この句における「はなだに」ということばは一見すると「花」に助詞の「だに」がくっついてるように思えますが、実は「はなだに」の「はなだ」が紫色を示すことばなのです。だから、子規が観ていたあじさいは天候によって紫色に変化する種類だったのでしょう。若くして肺結核を患い、さらに脊椎カリエスという難病に苦しみ続けた子規ですが、晩年の子規にとって、一日一日が死との闘いであったことは確かです。

昨日紫に色を変えたあじさいが、今日もまたその色を変えている。子規は日々紫色に変化して行くあじさいの花を眺めながら、一日一日その様態を変えて行く自分自身のいのちのありようを投射していたに違いありません。刻々と微妙に色を変えて行くあじさいの花は私たちにとっては美しく神秘的な花に違いないのですが、子規は変化するあじさいの花の色に、無常ないのちの儚さをはっきりと見て取っていたのでしょう。